

科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
高齢者看護学実習Ⅰ	前後期	3年	必修	3単位	135h
担当教員名	メールアドレス		オフィスアワー		
◎望月紀子、三島富有、鈴木久義	noriko.mochizuki@tohto.ac.jp		必要時メールで事前にアポイントを取る（火・木・金曜日）		
授業の概要					
介護老人福祉施設で療養している高齢者を対象に、介護予防や健康維持・増進を目的とした多職種による生活支援について学ぶ。また通所施設に通う高齢者及び家族に対する、施設の果たす役割と看護について理解を深める。さらに地域で生活する多様な健康段階にある高齢者を対象とした生きがい活動、健康増進、介護予防等の事業を通してそこにおける看護の役割を学ぶ。＊この科目は看護師の実務経験のある教員による授業科目です。					
キーワード	到達目標				
地域で生活する高齢者 生きがい活動 健康増進 介護予防 施設入所高齢者 保健医療福祉(多職種)の連携 看護職の役割機能	1. 地域において活動する高齢者や軽度機能低下のある高齢者の身体的・精神的・社会的な特性を述べられる。 2. 対象者の日常生活への適応及び自立を考慮した関わりができる。 3. 高齢者ケアにおける保健医療福祉チームの連携の必要性と、その中で看護職の役割機能が述べられ、チームの一員として協力・調整する姿勢を身につけることができる。 4. 対象者の価値観、信念を尊重した態度で接することができる。 5. 臨地実習を通して、自己洞察を深め、今後の自己の課題を表現できる。				
学習内容					
1. 「高齢者看護学実習Ⅰ」では、①沼津市社会福祉協議会（以下、社協）とNPO 法人まごころサービス静岡東部センター寄り合い処かぬき「暖だん」で <u>1 単位（1 週間）</u>、②介護老人保健施設で <u>2 単位（2 週間）</u> を実施する。 2. 「高齢者看護学実習Ⅰ」の①では、社協の「千本プラザ・サンウエル沼津」、「暖だん」での「高齢者の集い（サロンなど）」を通して、地域で活動する高齢者と交流し、健康の維持・増進、QOL向上を考える。また、社協の「ちょいてつサービス」を通して、高齢者が地域で生活することについて考える。 3. 「高齢者看護学実習Ⅰ」の②では、介護老人保健施設に入所している高齢者を受け持ち、看護過程を展開する。高齢者の発達課題、家族の状況、疾病や老化が日常生活に及ぼす影響をアセスメントし、高齢者のQOL向上をめざした看護を実践する。また、高齢者の生活を支える看護職や他職種との連携の実際を知り、看護職の役割機能を考察する。					
受講要件					
2 年次後期までの学年進捗とされているすべての必修科目の単位を修得していること。					
レポート	その他		合計		
0%	100%		100%		
教員からのメッセージ					
実習は全日程の出席を原則とし、実習 2/3 以上の出席をもって、評価対象となります。実習目的・実習目標の到達度を、評価表（100 点）を用いての評価となります。					